

釧路湿原自然再生事業全体説明資料

——— 環境省釧路湿原自然再生事業に関する実務会合資料等により

新・生物多様性国家戦略の概要

— 「自然と共生する社会」実現のためのトータルプラン—

【生物多様性— 3つの危機】

第1の危機

- ・開発、乱獲による種の減少・絶滅、
生息・生息地の減少
「トキが最後の1羽に」

第2の危機

- ・里地里山における生活・生産様式の変化や森林等の管理不足による自然の質の変化
「メダカが激減」

第3の危機

- ・国外からの移入種による日本固有の種への影響
「ブラックバスの影響」

【生物多様性保全の理念】

- ① 人間生存の基盤
- ② 世代を超えた安全性の基礎
- ③ 有用性の源泉
- ④ 豊かな文化の根源
- ⑤ 予防的順応的態度

【基本方向】

- 奥山、里山から都市まで**国土全体を対象**に施策を展開
- 自然の保全と再生を進め、生物多様性の**質を向上**
- 生き物の賑わいがあり、緑あふれる国土を百年、二百年がかりで

【具体的な施策】

1. 絶滅防止と生態系の保全

- ・絶滅危惧種の回復で予防的対策
- ・重要な森林や脆弱な湿地の保全
- ・国土全体の生態系のネットワークづくり

2. 里地里山の保全

- ・住民や NPO の参加した里山再生事業
- ・里山管理協定制度や環境保全型農林業の推進など

3. 自然の再生

- ・各省連携・市民参加による自然再生時事業
- ・百年の森づくり、河川、湿原、干潟などの再生・修復

4. 移入種対策

- ・国内侵入の積極的な予防、移入初期段階の発見と対応、定着した移入種の駆除・管理
- ・要注意生物リストの作成やペット管理の強化

5. モニタリングサイト 1000

- ・「緑の国勢調査」など自然環境調査の充実
- ・全国 1000 ヶ所の定点で長期的モニタリング調査を開始

6. 市民参加・環境学習

- ・市民・住民、自治体、NPO など、様々な主体が参加・連携する仕組みづくり
- ・情報の公開と共有、環境学習の推進

7. 国際協力

- ・アジア地域を中心に熱帯林、サンゴ礁、湿地、渡り鳥など重要な要素のモニタリングや保全に協力